

# 山紫海碧

東村立有銘幼小中学校

幼児2名 児童30名 生徒11名

♪ 山紫に海碧く ♪

発行 校長・園長 古謝治



ウサギ ウサギ目：Lagomorpha ウサギ科：Leporidae 名前：ショコラ

カイウサギは、ヨーロッパを原産とするアナウサギを改良して輸入・飼育されるようになったものである。日本にカイウサギが移入された時期は16世紀前半で、オランダ人がペットとして日本へ連れて来たと言われている。明治になるとウサギ飼育が非常に盛んになり、日本の白い体毛・赤い目という特徴を持つカイウサギは「日本白色種」という品種で、「ジャパニーズホワイト」とも呼ばれている。大学時代、畜産学科解剖学教室に在籍していた筆者の卒論のテーマは「日本白色種 JW-NIBS のリンパ節の分布」であったが、1匹1万円近くもする実験用ウサギを100匹位解剖し、リンパ節の分布図の作成にあけてくれた。卒業論文のためとは言え、今でもウサギを見るとあの頃を思い出し、心が痛む。ごめんなさい。

写真のウサギは1年半ほど前から、有銘校のマスコットとしてみんなに可愛がられているショコラ！夏の暑い時期は扇風機の風で涼しくしてもらったり、給食室からはキャベツや人参などの野菜くずを毎日運んできてもらったり、みんなに声をかけてもらったりと、かなりの好待遇をうけているお嬢様ウサギである。

### 勉強の基本は「かきくけ」

料理の基本は「ききくけ」ですが、勉強の基本は「かきくけ」  
わかっているようでわかっていない、できているようでしっかりとできていないかなと心配な基本中の基本です。

低学年（一〜三年生）では・・・

- 「か」 ↓ 書く。 ↓ ていねいな字で書く。
- 「き」 ↓ 聞く。 ↓ 耳も目も使って聞く。
- 「く」 ↓ 繰り返す。 ↓ ドリル学習を！
- 「け」 ↓ 継続する。 ↓ 三日坊主はダメ！
- 「こ」 ↓ 声に出す。 ↓ 音読をしたり、声に出して質問をしよう。

高学年（四〜六年生）や中学生になると次のように勉強に向き合う姿勢が欲しいですね。

- 「か」 ↓ 考える。 ↓ なぜだろう？どうしてだろう？丸暗記よりも楽しいはず。
- 「き」 ↓ 記録する。 ↓ 気付いたら、ひらめいたら、その場でメモをする。
- 「く」 ↓ 工夫する。 ↓ 自分に合った勉強方法を工夫し、試してみる。
- 「け」 ↓ 計画する。 ↓ 行き当たりばったりより、絶対効果あり。
- 「こ」 ↓ 行動する。 ↓ 書いて、声に出して体を使う。

## 校長のひとりごと。。。「魚釣り学習法」

今日は、勉強がもっと好きになり、もっともったいい成績がとれる方法についてお話します。その方法を私は、“魚釣り学習法”と言っています。私は、子どもの頃から魚釣りが大好きで、いろいろな魚釣りを楽しんでいますが、みなさんの中にも魚釣りが大好きな人がたくさんいると思います。

例えば、お家の人や友だちから、「明日、魚釣りに行こう！」と言われたら、みなさんはどんな準備をしますか？

つりざお、リール、つりばり、おもり、うき、ルアー・・・

エサは何を用意しますか？ おきあみ、練りエサ、さんま・・・

だけど、いったい何を釣ろうとしているんでしょう？何を釣りに行くかがはっきりしなくては、準備のしようがありません。

カーエー？ イラブチャー？ タマン？ グルクン？ イシミーバイ？ マグロ？

グルクンを釣りに行くなら、グルクンを釣るための釣り竿や仕掛け、おもり、エサはアミエビがいいかなあ？とちゃんと道具も決まってきます。大きい魚をたくさん釣りたいと思うなら、たくさん釣れる場所を知ってなくてはダメ。どんなところに、どんな魚がいるのか、自分で調べたり、魚釣りにくわしいウミンチュや魚釣りの上手な友だちに聞いたりすることも必要です。

さっきも言ったように、私は魚釣りが大好きですが、何を釣りに行くのかで、準備する道具やエサがまったく違ってきます。マグロを釣りに行くのに、間違っってグルクン釣りの道具を持って行ってしまったら、もうどうすることもできません。

**勉強だって同じことで、明日習う勉強にぴたり合わせて準備すれば、きつとうまくいくはずですよ。**

魚釣りは、自分の力で釣るほかはありません。自分の力で大きい魚を釣った時や狙っていた魚がたくさん釣れた時の喜びは、何とも言いようがないくらいうれしいものです。

**勉強でも、自分の力で大事なことがわかったり、むずかしいことができた喜びを感じる事が大切です。**

**「わかったよ！できたよ！」という喜びが、次の日も「よ～し、やろう！」という気持ちを起こしてくれます。**

先生に釣ってもらって、いかにも自分が釣ったような顔をしてもうれしくないし、魚が釣れるようになるはずがないでしょう。

また、釣った魚は、できるだけ早くクーラーボックスに入れたり、網やいけすに入れておくことも大切です。そうでないと、せっかく釣った魚が腐って、食べられなくなってしまいます。

**勉強だって同じ。勉強してお家に帰ったら、がんばりノートを出して復習すること！早くやるほど楽にできて、忘れることはありません。時間が経てば経つほど忘れてしまいます。**

また、ウミンチュは漁を終えて港に帰ってきたら、漁港ですぐにイラブチャー、タマン、グルクン、マグロ、カツオというように分けて冷凍します。きちんと分けているから、どんな時でも、必要な魚をすぐに取り出すことができます。

**勉強だって同じ。勉強したことも、ノートにきちんと整理して覚えておけば、いつでも頭の引き出しから答えを取り出すことができるし、いつテストがあっても平気ですよ。**

天気が悪くて海が荒れ、漁に行けない時には、魚がよく釣れるように釣りの道具や網を修理したりすることも大切です。小さな修理でいい時もあれば、大きな修理が必要な時もあります。

**勉強で言えば、休みの日に習ったことを復習したり補習を受けたりしてみる勉強になります。このような感じで勉強をしたら、きっと勉強がもっともって好きになり、おもしろくなり、テストでもいい成績がとれることでしょう。これが魚釣り学習法です！**

魚釣りが趣味じゃないという人は、魚釣りをバスケットやサッカー、陸上、棒高跳びなど、何でもいから自分の興味のあるものに置き換えて考えてみても同じですよ。バスケットにはバスケット、サッカーにはサッカーと、それぞれ準備する物や練習方法が違ってしまうでしょう。

いろいろな学習方法があります。自分に一番合った勉強の仕方を見つけ継続することが大切です。

山々ではセミの大合唱の鳴き声が聞こえ、まだまだ残暑が厳しい南国沖縄。とは言え、暦の上では季節は秋。何をするにも一番いい季節になりました。運動会も無事終わり、スポーツの秋は一段落。学校ではもうすぐ読書月間行事がはじまります。読書感想文や画、読み聞かせ、新聞切り抜きコンテスト、読書ビンゴ、読書郵便などが計画されています。ご家庭でもお子様と一緒に「読書の秋」を過ごしてみたいかがですか。